

令和8年度飯南町の教育

令和8年4月

飯南町教育委員会

第3次飯南町総合振興計画

基本施策

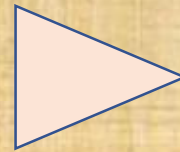
1-1 子育てしやすい環境づくり

1-2 飯南町にふさわしい教育環境づくり

1-3 地域で育む人づくり

1-4 生きがいのある生涯学習の創出

1-5 平等に暮らせる社会づくり



飯南町教育大綱

基本方針

魅力ある飯南の学びづくり

地域で育む教育環境づくり

一人一人が輝く人づくり

- 総合振興計画に掲げる「創造力のある未来の人づくり」
- 飯南町教育大綱に示す「ふるさと飯南の学びを原点に一人一人が輝く人づくり」を目指して、令和8年度の各種施策を推進

基本施策 1 - 1 子育てしやすい環境づくり

地域ぐるみで子どもを育てる仕組みづくり

①長期休業中の児童クラブ等の充実

★児童の放課後や長期休業中の居場所づくり

- ・放課後子ども教室や長期休業中の児童クラブの安定的な人材確保
- ・町内事業所に放課後子ども教室を一部委託

②子育て世代への経済的支援

★小学校における給食の無償化【新規事業】

- ・国の学校給食費の抜本的負担軽減対策を受けて小学校の給食を無償化
- ・中学校については、当面、保護者負担を据え置いた額を徴収
- ・引き続き、地元食材を使った安全安心で美味しい給食を提供

★飯南町奨学金の貸付

- ・飯南町奨学金の貸付により、子育て世代の経済的負担を軽減



保小中高一貫教育の推進による人づくり

①「飯南町立小・中学校再編計画」の策定【新規事業】

★有識者、学校関係者、保護者、住民代表などを構成員として

「飯南町立小・中学校再編計画検討委員会」を設置し計画を策定

- ・ 中学校施設に必要な事業規模の把握、今後の児童生徒の推移
スクールバスによる通学支援対策などについて情報収集
- ・ 小中一貫型学校のメリット、デメリットなど教育効果を検証
- ・ 今後の人口減少や少子化に対応できる持続可能な小・中学校
再編計画を策定
- ・ 保小中高一貫教育基本計画の見直し

②志々小学校の頓原小学校への統合【新規事業】

★令和8年2月25日の総合教育会議で、令和9年3月に志々小学校を閉校し

令和9年4月から志々小学校を頓原小学校に統合することを正式決定

- ・ 歴史ある志々小学校の閉校記念式典などの準備
- ・ 統合にあたり必要となる備品等の移転
- ・ 統合に向けた児童の受け入れや学習支援に必要なサポートスタッフの確保
- ・ 住民、学校関係者、保護者などで構成する「志々地区協議会」により、今後の志々地区の
活性化対策や子どもたちとの関わりを協議



③確かな学力の育成

★全国学力調査や「たつじんテスト」によるきめ細かな指導と学力育成

- ・ 島根県の推奨する「たつじんテスト」により「児童生徒のつまづき」を早期に見つけ適切な指導とフォローを行うことで幼少期から必要な学力を育成
- ・ 全国学調や町独自の学力調査で、児童生徒の個々の状況を把握し適切な指導と授業力改善

④創造力のある人材の育成

★未来人材育成事業により、これからの社会を生き抜く創造力ある人材の育成

- ・ 島根大学と連携して、ミシガン州立大学の留学生との交流を実施
- ・ 多様な文化に触れることで、幅広い視野を持った創造力ある人材の育成
- ・ 留学生の受け入れにホームステイを検討

⑤飯南高校の魅力化

★生命地域学、学習支援館など飯南高校の魅力化を推進

- ・ 高校、中学校と連携し学習支援館できめ細かな学習指導
- ・ 魅力化コーディネーターの配置で、生命地域学などの充実
- ・ ホストファミリー制度など生徒と地域のつながりを創出



教育の情報化の推進

① ICT活用授業をはじめとする教育の情報化の推進

★教育の情報化を推進し、主体性・探究力・思考力を高め
これからの社会で活躍できる人材を育成

- ・ ICT活用支援員の配置
- ・ 継続的な教職員への研修
- ・ タブレット学習ドリルにより個々に応じた学習機会の提供



多様な教育ニーズへの対応

① 特別な支援を要する児童生徒のきめ細かな相談指導

★小さな町の良さを活かして個々の状況に応じたきめ細かな指導助言

- ・ 「飯南町特別支援相談ネットワーク」による相談体制の確保
- ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと関係機関の連携による指導助言
- ・ 学校の状況に応じたスクールサポーターの配置など支援体制の整備

② 不登校・不登校傾向の児童生徒への支援

★近年増加傾向の不登校、不登校傾向にある児童生徒の居場所づくりと「学びの場」の確保

- ・ 教育支援センター「めだかの教室」による不登校児童生徒の学習支援
- ・ 指導体制の充実
- ・ 校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）の設置

学校・家庭・地域が一体となった人づくり

①学校運営協議会（コミュニティスクール）

★学校、家庭、地域が連携し「ふるさと飯南町に貢献できる人材」を育成

- ・学校運営協議会のサポートにより、地域資源を活かした子どもの多様な学びを支援
- ・学校運営協議会の構成員や教職員を対象とした研修会による意識の啓発
- ・児童生徒の地域行事への参画により、地域に貢献する意識を育む

ふるさと教育・生命地域教育の推進

②ふるさと教育、生命地域教育の推進

★地域課題を自ら見つけ、課題解決策を考えることで

「ふるさと飯南町」を誇りに思う人材を育成

- ・学校運営協議会、公民館などと連携してふるさと教育や生命地域学の充実
- ・ふるさとシンポジウムの開催



基本施策1 - 4 生きがいのある生涯学習の創出

いつでも、どこでも、誰でも学べる機会づくり

①公民館、図書館、文化協会などによる事業展開

★あらゆる世代が学びたいときに学べる機会を提供

- ・社会教育委員、スポーツ協会など関係団体と連携し、社会教育を推進
- ・社会教育関係者への研修会の実施
- ・公民館事業による交流の場を創出
- ・住民に親しまれる図書館運営により本に親しむ環境づくり

人と人とのつながりづくり

①公民館等による世代間交流の場を創出

★子どもから大人まで、あらゆる世代がつながる場の提供

- ・人と人をつながりを作ることで、新たな学びや活動を創出
- ・住民に親しまれる公民館づくり



歴史文化を感じるまちづくり

①郷土芸能や地域特有の歴史文化の継承

★地域の歴史文化を理解することにより、ふるさと飯南町を誇りに思う人材を育成

- ・ 神楽、囃子などの郷土芸能の継承
- ・ 盆踊り、食文化など地域特有の歴史や伝統行事の継承

②地域の歴史文化の再発見

★住民が地域の歴史文化に誇りを感じることができる機会を提供

- ・ 塩谷上遺跡の古銭調査報告書の作成と歴史文化講演会の開催
- ・ 瀬戸山城の基礎資料として石垣の記録保存【新規事業】
- ・ 瀬戸山城の町文化財指定に向けた準備



スポーツの普及と住民参加の機運醸成

①住民の健康増進とスポーツに親しむ機会を提供

★軽スポーツ、ニュースポーツなど幅広い活動が行える体制作り

- ・スポーツ推進委員の育成と研修による資質向上
- ・スポーツ協会やスポーツ少年団など関係団体との連携

②2030国民スポーツ大会の推進

★国民スポーツ大会ソフトボール競技開催に向けた運営準備と施設整備

- ・大会運営に向けた公認審判員、記録員の育成
- ・地元チームの育成
- ・頓原町民野球場の整備
(3塁側防球ネット、バリアフリートイレ) 【新規事業】
- ・先進県(青森県)の視察



①**基本的人権を尊重し多様性を認め合えるまちづくり**

★**人権同和教育の推進と啓発**

- ・ 飯南町人権施策推進基本方針に基づく事業の実施
- ・ 飯南町男女共同参画計画に基づき、男女共同参画の意識啓発
- ・ 多様な人権課題をテーマにした研修会の開催

